

デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.38-39 高地の暮らし
2. 目標 (1) 世界の高地の分布の特色と、アンデス山脈の気候の特色を理解できる。
(2) 高地に暮らす人々の生活の特色を、自然環境との関わりから考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・写真や雨温図などを活用し、世界の高地の分布の特色と、アンデス山脈の気候の特色を理解している。
思考・判断・表現	・高地に暮らす人々の生活の特色を、アンデス山脈の人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「クスコの町並み」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。	 p.38 1 写真から読み取れることを挙げてみよう。 クスコの標高を調べてみよう。また、クスコの標高は、日本のどの場所の標高に近いだろうか。	○ クスコの町並みの写真から、高地の暮らしについて知っていることを発表させながら、本時への導入を図る。 ○ クスコの場所を地図帳で確認させる。
	2. 高地に暮らす人々の生活の特色を予想し、学習課題への見通しを持つ。	高地に暮らす人々はどのような生活をしているのだろうか。	◆ クスコの標高は 3000m を超えていることを確認させ、日本では富士山山頂に近い標高であることに気付かせる。 ○ 高地に暮らす人々の生活の特色を予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開への見通しを持たせる。
	学習課題：標高が高いアンデス山脈の高地では、人々はどのような生活をしているのだろうか。		
展開	3. 高地の分布を理解する。	 p.38 2 高地が分布する地域を説明してみよう。	○ 高地が分布している地域を資料から読み取らせる。 ◆ 世界の高地は、アルプス山脈やヒマラヤ山脈、アンデス山脈などの高い山脈に線状に分布していることを理解させる。 ◆ オーストラリア大陸には高地が見られないことに気付かせる。

展 開	4. 高地の自然環境や生活の特色を理解する。 (1) 気候の特色 (2) 住居と服装 (3) 食文化と農業 5. 現代化と観光地化に伴う、アンデス山脈に暮らす人々の生活の変化を理解する。	p.38 3 クスコの気候の特色を説明してみよう。 p.39 4 p.39 5 アンデス山脈に暮らす人々の住居と服装の特色を説明してみよう。 p.39 6 p.39 7 アンデス山脈に暮らす人々の食事と農業の特色を説明してみよう。 p.39 8 写真からアンデス山脈に暮らす人々の生活の変化について分かることを説明してみよう。	○ 雨温図から、クスコの気候の特色を読み取らせる。 ◆ 年間を通して気温が低く、降水量は夏にあたる12～2月に多いことを理解させる。 ○ 写真から、アンデス山脈の暮らしの特色を読み取らせる。 ◆ ペルーの高地は、森林が少なく、空気が乾燥しているため家の壁に日干しレンガが使われていることや、寒さと強い紫外線を防ぐため、アルパカの毛で作った衣服を重ね着していることなどを理解させる。 ○ 写真から、アンデス山脈の食生活の特色を読み取らせる。 ◆ アンデス山脈では、高地でも栽培できるじゃがいもやとうもろこしが食べられていることに気付かせる。 ○ アンデス山脈に住む人々の近年の生活の変化について考えさせる。 ◆ インターネット回線の整備や観光客の増加により、人々の生活が変化していることを理解させる。
整 理	6. 本時のまとめをする。 7. 学習課題への振り返りの活動を行う。	クスコの雨温図や、アンデス山脈の人々の衣食住の様子から、高地の暮らしを説明しよう。 「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	◆ アンデス山脈の高地の暮らしの特色について、気温が低く、降水量の少ない気候に適した住居と服装、農作物などの特色に着目して説明できかたか確認する。 ○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。